

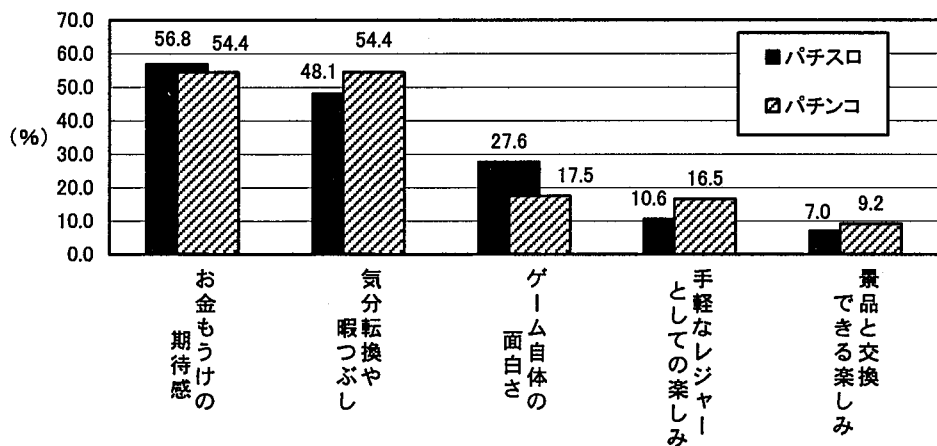
5. ファンがパチンコに求めるもの

パチンコファンの楽しみは、何といたっても「お金もうけの期待感」と「気分転換や暇つぶし」。前回調査時とこれは変わらぬところ。パチスロヘビーファンは「ゲーム自体の面白さ」もあげる。お金もうけの期待感を持ってパチンコを楽しむ人が多いということは、おのずと換金する人の割合も多く、約8割が換金派である。

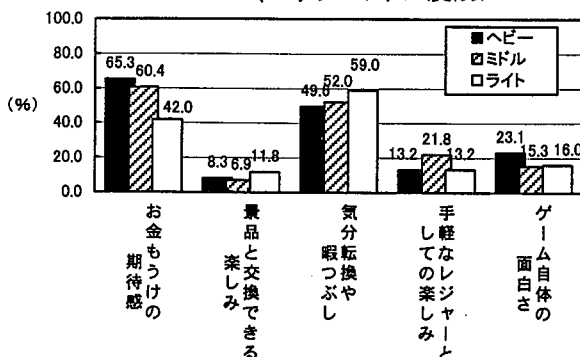
(1) 楽しみ要素の重視度 (本編87頁参照)

| | |
|------|--|
| パチンコ | <ul style="list-style-type: none"> ▼「お金もうけの期待感」(54%)、「気分転換や暇つぶし」(54%)が楽しみの2大要素 ▼男性は「お金もうけの期待感」(56%)、女性は「気分転換や暇つぶし」(52%) ▼前回調査と傾向は変わらず、パチンコの楽しみは「お金もうけ」(前回50%→今回50%)と「気分転換」(前回49%→今回50%) |
| パチスロ | <ul style="list-style-type: none"> ▼パチンコと似ているが「お金もうけの期待感」(57%)はパチンコ以上 ▼ヘビーファンは「お金もうけの期待感」(77%)と「ゲーム自体の面白さ」(51%) ▼前回調査と傾向は同じだが「お金もうけの期待感」(前回54%→今回57%)、「気分転換」(前回43%→今回48%)いずれも上昇 ▼「ゲーム自体の面白さ」がパチスロのヘビーファンを捉える |

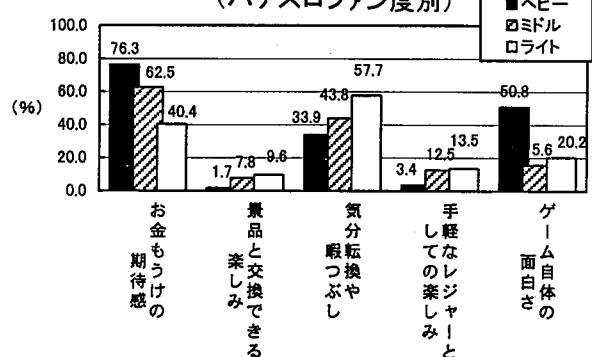
図表-概13 パチンコ/パチスロに求める楽しみ



図表-概14 パチンコに求める楽しみ (パチンコファン度別)



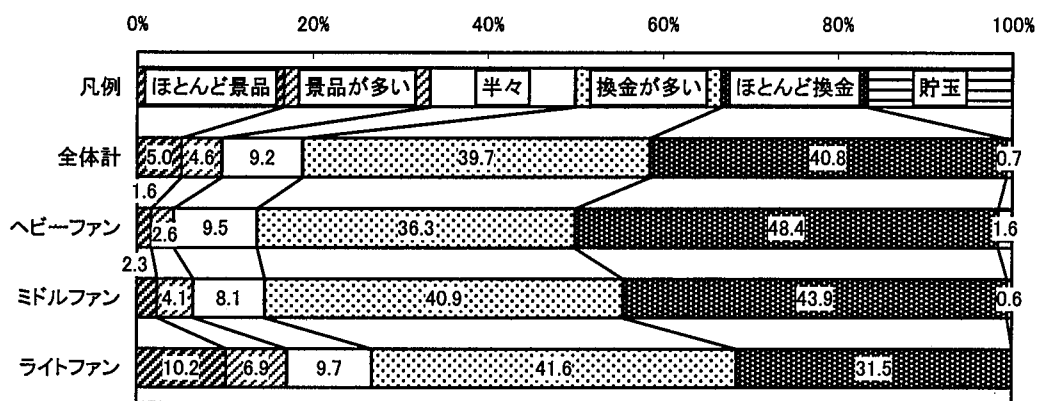
図表-概15 パチスロに求める楽しみ (パチスロファン度別)



(2) 換金か景品持ち帰りか (換金理由) (本編91頁参照)

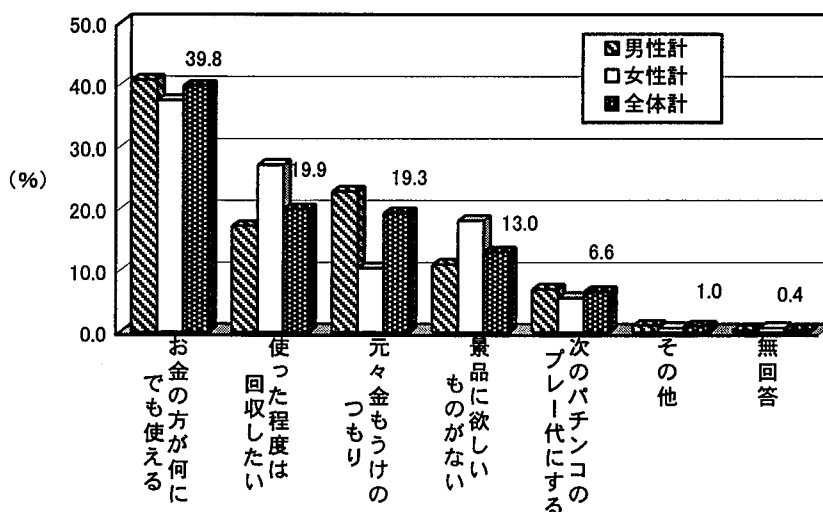
- 一般
- ▼換金派が大多数 (80%)
 - ▼ヘビーファンほど換金派が多い(85%)。ライトファンでも換金派が中心 (72%)
 - ▼「お金の方が何にでも使える」(40%)、「使った程度は回収したい」(20%)、「元々金儲けのつもり」(19%)が理由
 - ▼パチンコよりパチスロに換金派が多い (パチンコ派77%、パチスロ派88%)。特にヘビーファンはほとんど換金派 (98%)
 - ▼換金理由は、パチンコヘビーは「お金の方が何にでも使える」(32%)、パチスロヘビーは「元々お金もうけのつもり」(39%)を一番にあげる

図表-概16 換金か景品持ち帰りか



* 無回答を除いて集計。

図表-概17 換金する理由(一般の性別)



*「ほとんど換金」、「換金することが多い」、「半々」の人について。全体計の多い順。数字は全体計の値。

6. ファンが今後望む台と継続意向

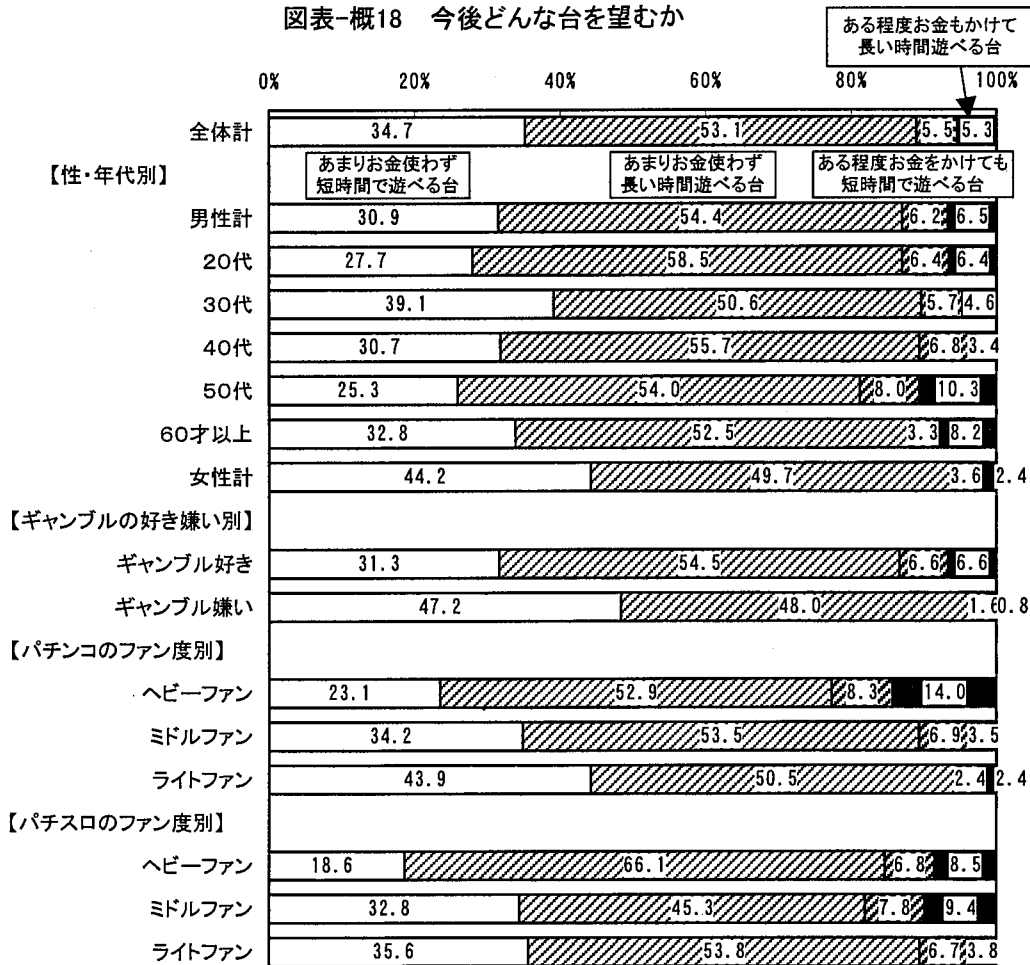
ファンが今後望むパチンコ・パチスロ台は、圧倒的に「お金を使わないで遊べる台」。現在のパチンコ・パチスロに対する明解な批判がここに表れている。また、今後パチンコをやめたいあるいは回数を減らしたい人（約3割）の理由は、「お金がかかりすぎる」と「あまり勝てなくなった」こと。

(1) 今後どんな台を望むか（遊技時間と投資金額）（本編96頁参照）

| | |
|----|---|
| 一般 | <ul style="list-style-type: none"> ▼ファンの希望は、「お金を使わないで遊べる台」（88%） ▼ライトファンよりヘビーファンほど長時間遊べる台を希望 ▼ホール内のヘビーファンは「お金をかけても・・・」が主流と思われるが、ファン全体では「お金をかけない」台を望んでいる |
|----|---|

| | 男女計 | | 男性 | 女性 |
|-----------------|-------|--|-------|-------|
| | | | | |
| お金を使わず短時間で遊べる台 | 34.7% | | 30.9% | 44.2% |
| お金を使わず長時間遊べる台 | 53.1% | | 54.4% | 49.7% |
| お金をかけても短時間で遊べる台 | 5.5% | | 6.2% | 3.6% |
| お金をかけても長時間遊べる台 | 5.3% | | 6.5% | 2.4% |

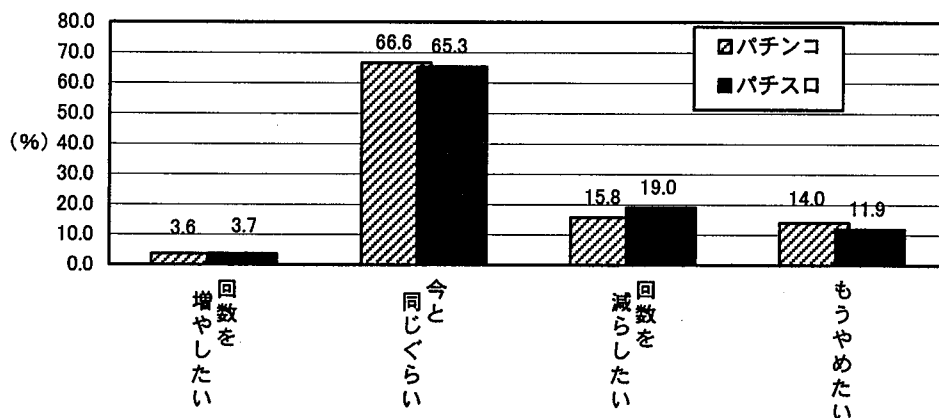
図表-概18 今後どんな台を望むか



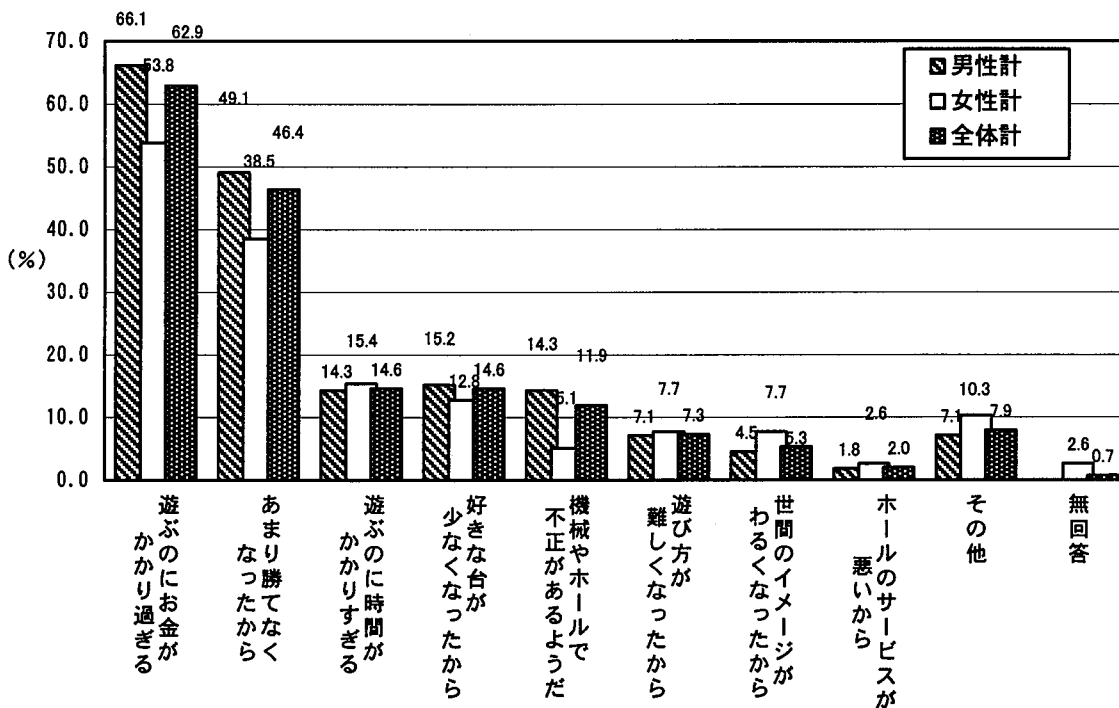
(2) 今後の継続意向（回数を減らしたい理由）（本編98頁参照）

| | |
|------|---|
| パチンコ | ▼現状維持派67%、増加派4%、抑制減少派30%で、全体としては抑制の方向 ▼理由は「お金がかかりすぎる」(63%)と「あまり勝てなくなった」(46%) ▼抑制減少派はヘビーファンほど多い(ヘビー35%、ライト24%) |
| パチスロ | ▼現状維持派65%、増加派4%。抑制減少派31%はパチンコより若干多い ▼理由はパチンコ同様「お金がかかりすぎる」(63%)と「あまり勝てなくなったから」(40%) ▼男性ファンの33%は「やめたい」(13%)もしくは「減らしたい」(20%) |

図表-概19 今後の継続意向



図表-概20 パチンコの頻度を減らしたいもしくはやめたい理由



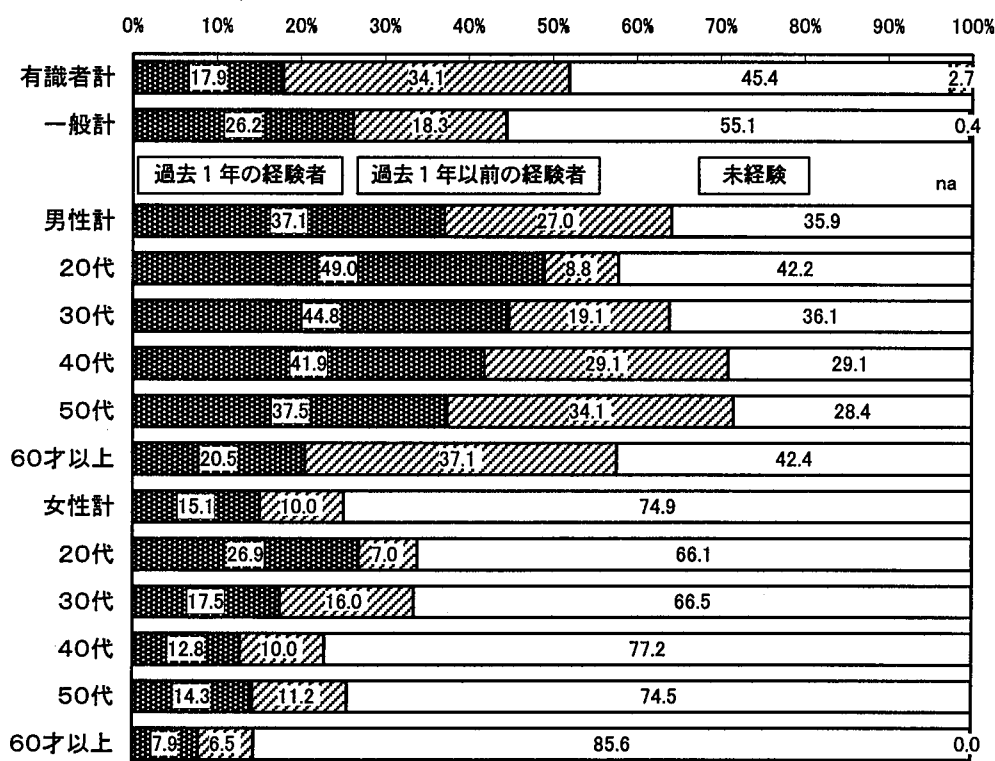
7. 日本人の過去のパチンコ経験と再開意向

パチンコは若者なら一度は通過する大人へのステップみたいなレジャー。ホールも身近にいくらでもあり、パチンコ経験者は非常に多い。しかし、「お金がかかり過ぎる」傾向を示すようになったパチンコ事情が、ちょっとした時間つぶしの楽しみを薄れさせ、ホールから足が遠のく人も目立つ。

(1) 過去のパチンコ経験の有無 (本編107頁参照)

| | |
|-----|--|
| 一般 | <ul style="list-style-type: none"> ▼全体の45%がパチンコ経験を持つが、その4割の18%が今はしていない ▼男性は64%がパチンコ経験を持ち、その4割強の27%が今はしていない ▼パチンコ未経験者は男女計で55% (男性36%、女性75%) |
| 有識者 | <ul style="list-style-type: none"> ▼有識者のパチンコ経験者は半数強の52%だが、その内の65%は今はしていない ▼かつてのファンが多いのはマスコミ(42%)と産業人(40%)、縁が薄い評論家・学者(27%) ▼目立つパチンコのオールドファン(若い頃はよくやっていた:17%) |

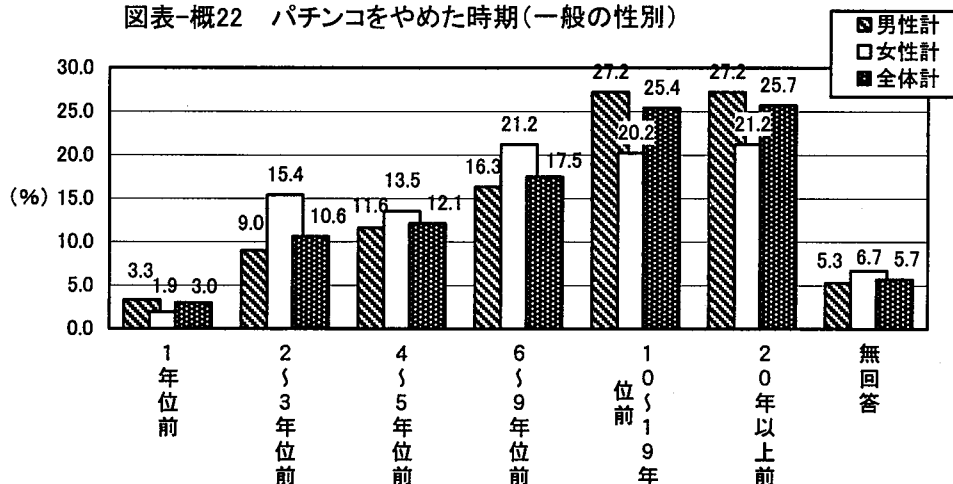
図表-概21 過去のパチンコ経験



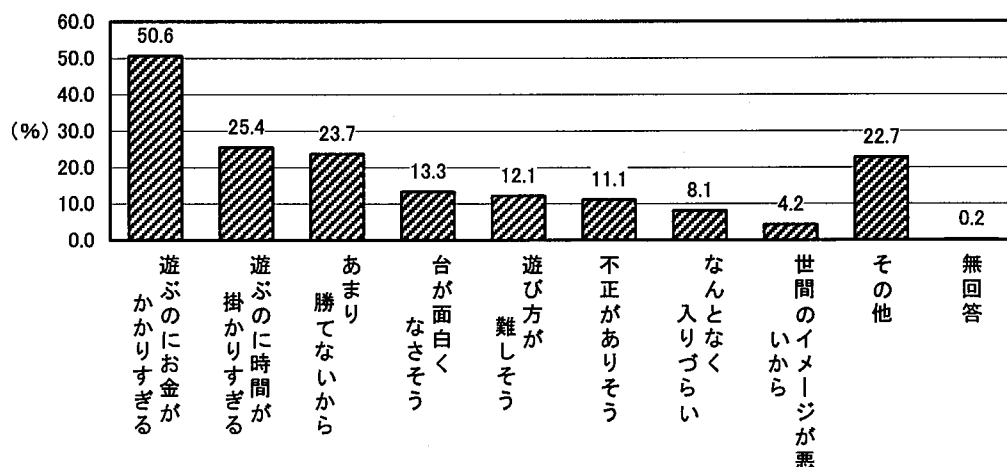
(2) パチンコをやめた時期と理由 (一般のみ) (本編110頁参照)

| | |
|----|---|
| 時期 | <p>▼10年以上前にやめた人が51%、その半分は20年以上前にやめた</p> <p style="text-align: center;"><やめた時期> {</p> <ul style="list-style-type: none"> ここ5年以内にやめた人：26% 6～10年位前にやめた人：18% (累計44%) 11～20年位前にやめた人：25% (累計69%) 20年以上前にやめた人：26% (累計95%) <p>▼最近3年以内にやめたのは若年層に多い(男性20代:47%) かなり以前にやめたのは高年層(「4, 5年以上前にやめた」60才以上:89%)</p> <p>▼前回調査と基本的には同傾向。今回は「最近やめた人」がわずかだが少ない</p> |
| 理由 | <p>▼理由の上位3は「お金がかかりすぎる」(51%)、「時間がかかりすぎる」(25%)、「あまり勝てないから」(24%)</p> <p>▼「お金がかかりすぎる」は男性20、30代(20代:71%、30代:69%)と女性30代(61%)といった若年層に多い</p> <p>▼「遊ぶのにお金がかかりすぎる」という要因は前回調査より強まった(前回34%→今回51%)</p> |

図表-概22 パチンコをやめた時期(一般の性別)



図表-概23 パチンコをやめた理由



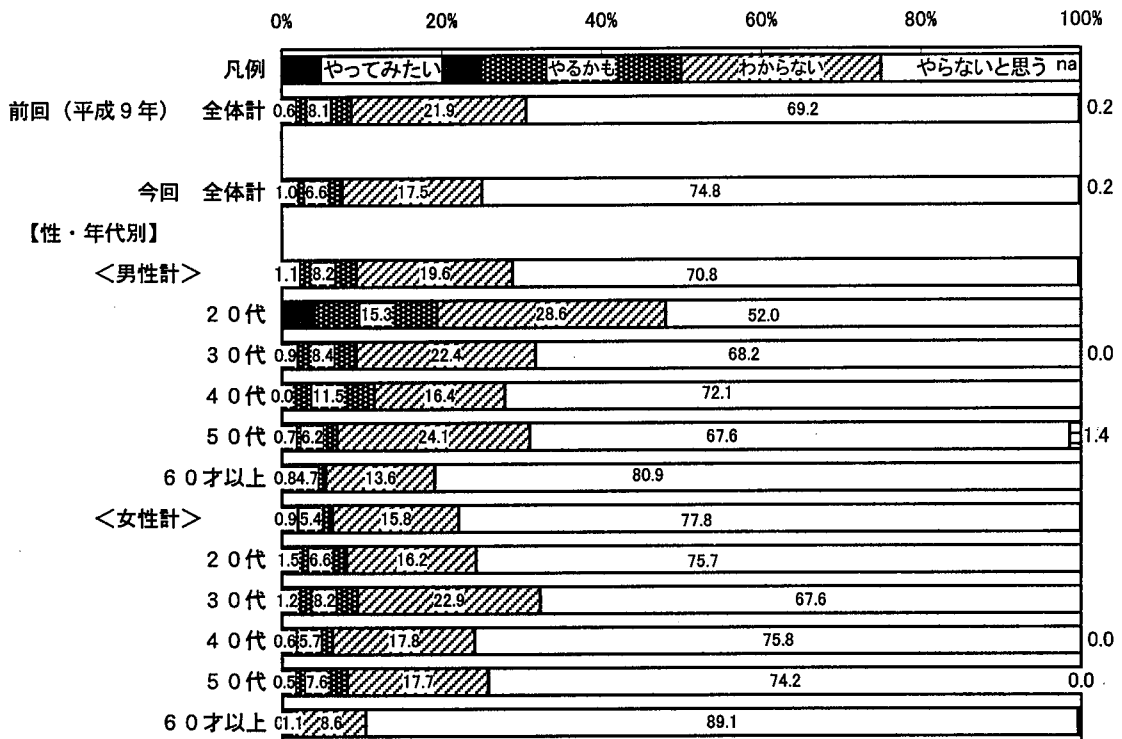
* 以前にパチンコをやっていた人について。多い順。

(3) 再開意向と再開のための条件（一般のみ）（本編113頁参照）

一般

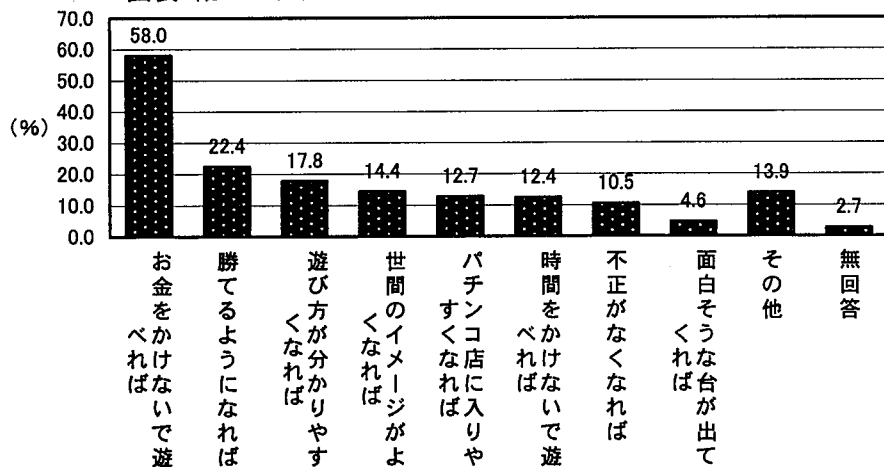
- ▼再開意向を示したのは8%、「わからない」を含め可能性を持つ人は25%程度
- ▼再開条件は58%の人が「お金をかけないで遊べれば」をあげた
- ▼男性の方が再開に多少前向き（男性：9%、女性：6%）
- ▼前回調査より「やらないと思う」人が増加（前回：69%→75%）

図表-概24 やめた人の再開意向



* 過去1年間に一度もパチンコやパチンコをやらなかった人について

図表-概25 再開のための条件



8. パチンコとパチンコ業界に対するイメージ

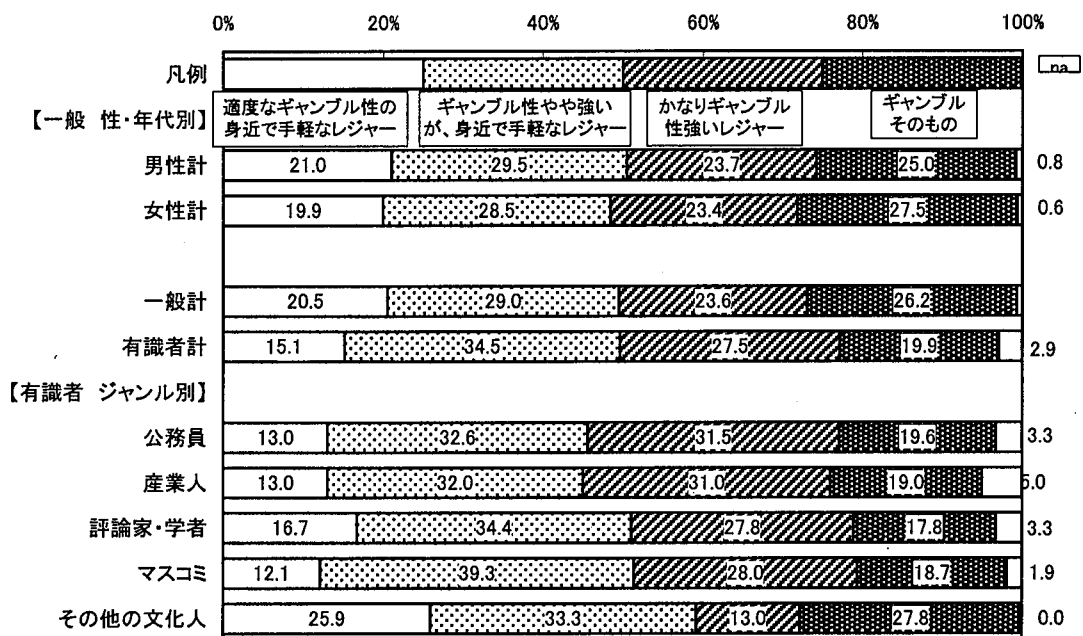
パチンコに対して世間では、「お金がかかりすぎる」きらいはあるが、まだレジャーとしての限界は超えていないと見る人が多い。今のパチンコをあまりよく知らない人が多いためでもあろうが、実際にファンも多く、大衆レジャーとしての現実的評価は失われていない。

しかし一方で、不況下でも儲けている、脱税が多そう、暴力団と関係がありそう、などといったダーティなイメージも依然非常に強く、好悪両側面のイメージを併せ持つ極めて珍しい業界になっている。

(1) 現在のパチンコは「ギャンブル型レジャー」か「ギャンブルそのもの」か
(本編117頁参照)

| | |
|-----|--|
| 一般 | <ul style="list-style-type: none"> ▼「パチンコ＝ギャンブル型レジャー」と見る人(50%)と、「パチンコ＝ギャンブル」(50%)と見る人が、完全に真っ二つ ▼パチンコの魅力はレジャーとギャンブルの境界線上にある点。世間の見方はお金がかかりすぎるきらいはあるが、まだギャンブル型レジャーの限界は超えていない ▼男女問わず若いほど(男性20代:60%、60才以上:41%)、またファンほど(ファン:71%、無関心層:39%)パチンコをギャンブル型レジャーと見ている人が多い |
| 有識者 | <ul style="list-style-type: none"> ▼有識者もギャンブル型レジャーと見る人とギャンブルと見る人が半々 ▼ただ、主流は「ギャンブル型レジャーでもありギャンブルでもある」という中間的見方 ▼文化人、マスコミ、評論家・学者はギャンブル型レジャーと、公務員、産業人はギャンブルと見ている人が多い |

図表-概26 パチンコは「ギャンブル型レジャー」か「ギャンブル」か



(2) パチンコおよび業界に対するイメージ (本編120頁参照)

| | |
|-----|--|
| 一般 | <ul style="list-style-type: none"> ▼特に強いイメージは「不況でも儲けている」(75%)、「経理の不正や脱税が多そう」(74%) ▼「暴力団と関係」(66%)、「遊技機やホールの不正」(57%)も過半数の人が持つイメージ ▼通常の企業活動なら致命的ダーティイメージだが、あまり問題にならないのはパチンコとはそういうものだという認識が世間に定着しているからか ▼大衆レジャーとしての高評価とダーティイメージを併せ持つ極めて珍しい業界 |
| 有識者 | <ul style="list-style-type: none"> ▼ダーティイメージは一般以上に強い ▼一方で、「手軽なレジャー」(56%)、「先端産業」(53%)としての評価も過半数 ▼マスコミは高評価の一方でダーティイメージも ▼芳しくないイメージは有識者の方がより多く持つ |

図表-概27 パチンコ及び業界に対するイメージ

